

# 横須賀市がん対策推進計画

## 【概要版】

### (案)

計画期間 令和7年度(2025年度)～令和12年度(2030年度)

#### 基本理念

がんを知り、がんと共生し、がんの克服を目指す

「誰も一人にさせないまち」の実現

(目指すべき姿と役割)

横須賀市・医療従事者・市民が手を取り合って、すべての市民ががんとともに生きていく人とその家族の状況を理解し、互いに助け合う、誰もが安心して自分らしく暮らせるまち・よこすか

#### 横須賀市民

- ・がんに対する必要な知識を持ち、実践できるがん予防に取り組む
- ・自身の体に関心を持ち、生活習慣の改善に取り組む
- ・定期的な検診受診

#### 医療従事者

- ・がん医療の推進・がんによる死亡の減少
- ・がんと診断された患者やその家族に診断した時から寄り添う
- ・多職種が連携してその人らしい生き方を支援する

#### 横須賀市

- ・がんを予防する生活習慣の推進
- ・がん検診の普及啓発
- ・年代に応じたのがん教育
- ・がんとともに生きていく人とその家族が住み慣れた家で暮らしていけるまちづくり

## (2) 分野別目標

- ① がん予防の推進 ～予防できるがんを防ぐために～
- ② がんの2次予防（がん検診）  
～がんの早期発見・早期治療につなげるために～
- ③ がん医療 ～がん医療の質と安全の確保のために～
- ④ がんとの共生（がんとともに生きる人への支援）  
～社会生活を続けるために～

### 横須賀市のがんを取り巻く現状（統計）

横須賀市の人口は、令和6年(2024年)4月1日現在、381,052人で、高齢化率は年々高くなっています。また、平均寿命は、令和4年時点で男性は81.05年、女性は87.09年となっており、日本は世界有数の長寿国になっています。

【グラフ①挿入予定】 高齢化・平均寿命の延伸

平均寿命の延伸に伴い、がんにかかるといわれる人が増えました。今では、日本人の2人に1人は生涯で一度はがんにかかるといわれます。

また、医療の進歩で他の疾患で命を落とす人が減ったこともあり、がんは昭和56年(1981年)以降、我が国の死因の第1位となっています。

【グラフ②挿入予定】 死因別死亡率順位

一方で国を挙げてのがん対策が進み、がんは「治療できる病気」になりました。ステージⅠの段階でがんを発見できた場合の5年相対生存率は、87%に上ります。適切な生活習慣の継続と、予防接種等によるがん予防、定期的ながん検診でがんの早期発見・早期治療がとても大切です。

【グラフ③挿入予定】 部位別ステージ別5年生存率

# 施策体系

[ 基本理念 ]

がんを知り、がんと共に生き、がんの克服を目指す  
「誰も一人にさせないまち」の実現

[ 大柱 ]

1 がん予防の推進

(1) 生活習慣からのがん予防

(2) 感染予防からのがん予防

2 がんの2次予防  
(がん検診)

(1) がん検診

(2) 精密検査

3 がん医療

(1) がん診療連携拠点病院等を中心としたがん医療提供体制等

(2) 希少がん・難治性がん対策

(3) 小児及びAYA世代のがん対策

(4) 高齢者のがん対策

(5) がん登録の推進

(6) 新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装

4 がんとの共生 (がんと共に生きる人への支援)

(1) がん患者及びその家族等への支援

(2) 就労を含めた社会的な問題への対策

(3) ライフステージに応じた支援

(4) 緩和ケアの人材育成・普及啓発

(5) がんに対する理解の促進

[ 中柱 ]

## がん1次予防

### ●生活習慣からのがん予防

予防可能ながんのリスク因子としては、喫煙(受動喫煙を含む)、飲酒、食生活や運動等の生活習慣、ウイルスや細菌への感染など様々なものがあります。

中でも、喫煙とがんとの関係は明らかで、国立がん研究センターによると、全国では男性のがんの43.4%、女性のがんの25.3%は、感染症や喫煙等の生活習慣が要因であると考えられています。

#### 予防可能ながんのリスク因子

- |                                  |                               |
|----------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 喫煙・受動喫煙 | <input type="checkbox"/> 飲酒   |
| <input type="checkbox"/> 肥満      | <input type="checkbox"/> 塩分摂取 |
| <input type="checkbox"/> 野菜摂取    | <input type="checkbox"/> 運動不足 |

### ●感染予防からのがん予防

感染症を要因とするがんは、男性では喫煙に次いで2番目に、女性では1番目の要因となっています。特に、子宮頸がん、肝がん、成人T細胞白血病、胃がんは、その発症原因の多くがウイルスや細菌の感染によるものであり、感染予防が、がんの予防につながることを期待されます。

#### がんのリスク要因となる感染症

- |                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> ヘリコバクター・ピロリ | <input type="checkbox"/> ヒトパピローマウイルス (HPV) |
| <input type="checkbox"/> 肝炎ウイルス      | <input type="checkbox"/> HTLV-1            |

### ●中学2年生のピロリ菌対策事業

令和元年度(2019年度)から市内在住の中学2年生のうち希望者を対象に、全額公費負担で「中学2年生のピロリ菌対策事業」を実施しています。乳児期からの感染の長期化を防ぎ、胃がんになるリスクを低減することを目的としています。

#### ピロリ菌対策のイメージ図



## がん2次予防

### ●がん検診

定期的ながん検診によりがんの早期発見・早期治療ができれば、がんによる死亡者数を減少させることが可能です。

横須賀市では、胸部検診(肺がん検診と65歳以上の結核検診を兼ねた検診)、大腸がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診、前立腺がん検診の5種のがん検診と胃がんリスク検診を実施しています。

### 横須賀市が実施するがん検診等

種類	対象者	受診間隔	検査項目
胸部検診	40歳以上	年度に1回	問診、胸部エックス線検査
大腸がん検診	40歳以上	年度に1回	問診、便潜血検査
乳がん検診	40歳以上※ 3	隔年度に1回	問診、乳房エックス線検査(マンモグラフィ)
子宮頸がん 検診	20歳以上※ 4	年度に1回	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診
前立腺がん検診		50歳以上	(注1) 問診、血液検査(PSA検査)
胃がんリスク検診		20歳・30歳※ 5 40歳以上	(注2) 問診、血液検査(ペプシノゲン検査・ピロリ菌抗体検査)

※3：40歳の人へクーポン券

※4：20歳の人へクーポン券

※5：20歳・30歳の人へ受診券

(注1)・平成27年度以降に受診していない人、またはA群は判定年度を含め、3年経過した翌年度以降受診可能

・B群は翌年度以降受診可能

・C群は専門医の経過観察終了後に受診可能

(注2)・初回またはA群は判定年度を含め、5年経過した翌年度以降受診可能(2回まで)

・B群～E群は判定後受診不可

### ●クーポン・受診券の交付

子宮頸がん検診について20歳女性、乳がん検診について40歳女性を対象に、国庫補助金を財源の一部として年度初めにクーポン券を交付します。また、40歳男女を対象に胸部検診・大腸がん検診・胃がんリスク検診の受診勧奨を行っています。

### ●精密検査

早期で見つけれれば、がんは決して怖い病気ではありません。「精密検査が必要」と判定されたら早期がんを見つけられるチャンスと考え、自分のため、そして心配してくれる周りの人のためにも、精密検査を受けるようにしましょう。

精密検査は、地域がん診療連携拠点病院のほか、その他の精密検査実施医療機関で受診することができます。

## 相談窓口

### ●がんの相談窓口

がんの治療を受ける上での不安や悩み、療養生活、治療と仕事の両立等、がんに関する相談支援が適切に対応できるように、相談窓口が設けられています。

#### 横須賀共済病院「がん相談支援センター」

電話：046-822-2710（代）

受付時間：平日9:00～16:00

#### 衣笠病院 ホスピス・緩和 なんでも相談

電話：046-852-1182

毎月 第一・第三水曜日

### ●防がんマップ・がんサポートブック

がん患者や家族のがんに対する不安や疑問に適切に対応するため、がんに関する正しい知識の普及啓発や、分かりやすい情報を、インターネットやSNSを活用した広報など、世代に応じた方法で提供しています。

#### かながわのがん対策

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/nf5/ganntaisaku/ganntaisaku-top.html>



#### 防がんMAP 神奈川県版

神奈川県では、がん患者やその家族が、必要なときに正しい情報入手できるツール「防がんMAP 神奈川県版」を公開しています。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/nf5/ganntaisaku/bouganmap-top.html>



#### 神奈川県「がんサポートハンドブック」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/nf5/ganntaisaku/ken-torikumi/sapohan.html>



## 医療機関案内

### ●がん診療連携拠点病院・がんゲノム医療連携病院

がん診療連携拠点病院・診療連携指定病院は、全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、都道府県知事からの推薦に基づき厚生労働大臣が指定する病院です。都道府県において中心的な役割を担う「都道府県がん診療連携拠点病院」と各地域に設置される「地域がん診療連携拠点病院」があります。

市においては、地域がん診療連携拠点病院として、「横須賀共済病院」が、国の指定を受けており、横須賀、三浦地区のがん治療等において重要な役割を担っています。

横須賀共済病院ホームページ

<https://ykh.kkr.or.jp/>

電話：046-822-2710

FAX：046-825-2103



### ●県立こども医療センター、国立がん研究センター中央病院

小児がんとは0歳から14歳の小児期発症のがんを言います。AYA世代とは、Adolescent and Young Adult(思春期・若年成人)の頭文字をとったもので、主に、思春期(15歳から)から30歳代までの世代を指しています。

国や県では、患者数の少ない、小児がん、AYA世代のがんの相談窓口を国立がん研究センター電話相談、神奈川県立こども医療センター小児がんセンター等に設けています。

神奈川県立こども医療センター小児がんセンターホームページ

<https://kcmc.kanagawa-pho.jp/shounigancenter/>

小児がん相談支援室

電話：045-711-2351 (代表)「小児がんの相談です」とお伝えください。

E-mail:[shounigan@kcmc.jp](mailto:shounigan@kcmc.jp)

(お急ぎの場合はお電話でお願いします)



国立がん研究センター中央病院 「AYA世代のがんについて」

<https://www.ncc.go.jp/jp/ncch/AYA/index.html>



## 補助金情報

### ●アピアランス

市では、抗がん剤治療に伴う副作用から生じた脱毛症状によりウィッグが必要な人を対象にウィッグ購入費助成事業を行っています。

事業の詳細や問合せ・申請書ダウンロード	横須賀市ホームページ <a href="https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/3135/kenshin/20240509.html">https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/3135/kenshin/20240509.html</a> 民生局健康部健康管理支援課 話：046-822-4307	
---------------------	--	---

### ●妊孕性温存療法

がん治療によって妊孕性が低下する可能性があることから、受精卵、卵子、卵巣組織、精子を凍結保存する妊孕性温存療法の費用の助成事業を行っています。

神奈川県ホームページ「妊孕性温存治療・温存後生殖補助医療について」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/nf5/ganntaisaku/ganchiryou/ninnyousei-jyosei.html>



### ●小児慢性特定疾病

小児がんを含む小児慢性特定疾病にかかっている児童等について、健全育成の観点から、患児家庭の医療費の負担軽減を図るため、その医療費の自己負担分の一部を助成する制度があります。

制度の概要と手続きについて

神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部子ども家庭課

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/he8/cnt/f417255/index.html>



### ●高額療養費制度

医療機関や薬局の窓口で支払った医療費が、1か月間で一定の金額(自己負担限度額)を超えた場合、申請により、その超えた金額の払い戻しを受けることができます。

【問合せ先】 あなたの加入する公的医療保険の窓口

### ●肝がん医療費助成（県）

県では、肝炎ウイルス検査で陽性となった人、肝炎治療を行っている人を対象に検査費用や治療費の助成を行っています。

肝炎の初回精密検査・定期検査費用の助成

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/nf5/cnt/f7029/p1034831.html>

電話：045-210-4795



## その他の相談

### ●就労支援

がん患者の「仕事」と「治療」の両立を支援するための相談を行っています。

#### ハローワーク横須賀

<https://jsite.mhlw.go.jp/kanagawa-hellowork/list/hw-yokosuka.html>

電話：046-824-8609

開庁時間：平日 午前8：30～午後17：15



#### ハローワーク横浜 職業相談企画部門

電話：045-663-8609（48＃）

（※その他の神奈川県内ハローワークにおいても相談を承っております。）

### ●患者会

がん患者やその家族をサポートする市民団体では、がん患者、家族、遺族が集まり医療情報の交換や、悩み、家族のサポートなどについて語り合い、がんについての相談ができます。

がん患者会の登録団体は、神奈川県「がんサポートハンドブック」に掲載されています。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/nf5/ganntaisaku/ken-torikumi/sapohan.html>

### ●緩和ケア

拠点・指定病院では、整備指針に基づき、患者やその家族等に対して、がん治療医とともに多職種のメンバーで構成された緩和ケアチームによる、専門性の高い緩和ケアの提供を実施しています。

#### 神奈川県ホームページ「緩和ケア」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/nf5/ganntaisaku/kyousei/kannwa-care.html>



### ●終末期支援

市では、在宅生活の不安を減らし、安心して在宅療養や在宅看取りを選択できる終末期支援の取り組みを行っています。

取り組み	内容
わたしの終活（終活情報登録伝達）事業	生前に緊急連絡先やかかりつけ医などをご登録いただき、万一の時、病院・消防・警察・福祉事務所や本人指定の方からの問い合わせに市がお答えして、本人の意思の実現を支援します。
エンディングプラン・サポート事業	低所得で資産も少なく、一人暮らしで頼れる身寄りがない高齢者等の終活支援を行う。
介護者への支援	心理相談員（臨床心理士）に相談できる「高齢者・介護者のためのこころの相談」を開催しています。

## ●精神面の支援（自殺対策）

市は、気持ちが落ち込む・眠れない、身近な人には話せないが誰かに話したい悩みを抱えている方のための相談窓口を設定しています。匿名で相談いただけます。

### 横須賀こころの電話

電話：046-830-5407

受付時間：16～23時 土・日・祝日：9～23時（年中無休）

毎月第2水曜日：16時～翌朝6時

## ●がん相談支援センター

がん相談支援センターでは、がん患者に必要な社会資源についてや、患者同志の情報交換の場などについて聞くことができます。

### 横須賀共済病院「がん相談支援センター」

電話：046-822-2710（代）

受付時間：平日9:00～16:00



## ●ほっとかん（横須賀市福祉の総合相談窓口）

子育て、生活の苦しさ、障害など困っていることや不安がいろいろあるけれど、どこへ相談にいったらわからない方の総合相談窓口です。窓口や電話相談以外にLINEでも相談を受けています。

### ほっとかん（福祉の総合相談窓口）

平日の8時30分から17時まで（祝日、年末年始は除く）

電話：046-822-9613 FAX：046-827-8158



LINE  
←二次元コード  
を読み取り友  
だち追加

### 【がん検診等の問い合わせ先】

横須賀市健診センターではスムーズな受診ができるよう、受付時間を分けてご案内しています。

横須賀市健診センター 予約 046-822-4351

横須賀市民生局健康部健康管理支援課 電話番号:046-822-4307

令和7年3月  
横須賀市民生局健康部健康管理支援課  
〒238-0046 横須賀市西逸見町1丁目38番地11  
ウエルシティ市民プラザ3階  
電話番号:046-822-4307

## 具体的な施策の索引

項目		項目	
あ行	アピアランスケア		健康推進プランよこすか
	ウィッグ購入費助成事業		検診クーポン・受診券
	胃がんリスク検診		県がん診療連携協議会
	医科歯科連携		高齢者のがん治療
	医療実装	さ行	在宅緩和ケア
	飲酒		在宅療養・在宅看取り
	運動不足		支持療法
	HPVワクチン		手術療法・放射線療法・薬物療法
	HTLV-1		就労支援
	塩分摂取		終末支援
か行	がんゲノム医療		小児及びAYA世代のがん
	がんに関する相談支援		小児慢性特定疾病医療費助成制度
	がんのリハビリテーション		精神面のサポート
	がん患者団体	た行	チーム医療
	がん教育		地域包括ケアシステム
	がん検診		中学2年生のピロリ菌対策事業
	がん検診精密検査	な行	妊孕性温存療法
	がん診療連携拠点病院・診療連携指定病院	は行	ヒトパピローマウイルス
	がん対策推進企業アクション		肥満
	がん登録		ヘリコバクター・ピロリ
	緩和ケア		ほっとかん
	緩和ケア病棟	や行	野菜摂取
	肝炎ウイルス		予防接種の再接種費用の助成
	希少がん・難治性がん	ら行	療養生活を支援する制度
	喫煙・受動喫煙		

より詳しい内容は、以下で見ることができます。

[横須賀市がん対策推進計画](#)

[https://\\*\\*\\*\\*\\*](https://*****)